

トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

福岡県台湾友好議員連盟の取り組み

◆特別展「台北 国立故宮博物院—神品至宝—」開会式

10月6日、特別展「台北 国立故宮博物院—神品至宝—」の開会式が開催され、加地邦雄議長と松本國寛福岡県台湾友好議員連盟会長が来賓として出席しました。



九州国立博物館の三輪嘉六館長は、「多くの方々のご努力、福岡県議会をはじめ財界・産業界の方々の熱心な後押しをいただき、ここに実施の運びとなりました。本展は、特に代表的な文物を厳選し、中華文明の特質や素晴らしさを皆様に受け止めていただこうとするものです」と挨拶され、その後、関係者によるテープカットが行われました。



門外不出の肉形石
清時代・18～19世紀
展示期間終了
國立故宮博物院所蔵

◆亜東関係協会 会長 表敬訪問



10月7日、亜東関係協会の李嘉進(リ カシン)会長が県議会を訪問されました。

加地議長は、「台北 国立故宮博物院展の開幕日に訪問いただいたことを大変嬉しく思います。

福岡県議会では議員連盟が窓口となって台湾との交流を進めており、今後もより一層相互交流を進めていきたい」と述べ、訪問を歓迎しました。

懇談では、馬英九総統は日本に対して特別の思いをもたれていることや、過去に行われた交流活動などが話題となり、和やかな雰囲気の中、相互理解を深めることができ、今後の交流活動の推進に向けて大変有意義な機会となりました。

◆福岡県台湾友好議員連盟 交流事業

9月29日、福岡県台湾友好議員連盟主催による意見発表会が開催されました。発表会には、台湾からの留学生や台湾に行ったことのある日本の学生が多数参加し、それぞれの経験に基づいた貴重な意見の発表が行われ、次代を担う若者らしい率直な意見や経験談の発表に、台湾友好議員連盟会員など100名以上の参加者は、終始熱心に耳を傾けていました。



福岡県日韓友好議員連盟韓国訪問

8月6日から8日にかけて、原口剣生福岡県日韓友好議員連盟会長を団長とする福岡県日韓友好議員連盟の訪問団9名が大韓民国を訪れました。



6日は、ソウル特別市にある「韓日親善協会中央会」を訪問し、金守漢(キム スハン)会長らと意見交換を行いました。金会長は、「このように草の根交流をすすめる絆を固めていこうという皆様の勇気と慧眼に敬意を表します」と挨拶され、原口会長は、「草の根、地方、そうしたところから手を結んでいく中で、韓国・日本の両国が少しでもうまくいくよう強い気持ちを持っています」と挨拶しました。

7日は、京畿(キョンギ)道が設置した「坡州(パジュ)英語村」を訪問しました。この英語村には、生活の中で自然に英語と英語圏の文化を学ぶための多様なプログラムが用意されており、日本から研修に来ていた英語教師の方々と意見交換を行いました。

そのほか、ソウル特別市で整備が進められている「デジタル・メディア・シティ」、釜山広域市を代表する世界的コンベンション施設である「BEXCO」を訪問し、各訪問先で活発な意見交換を行いました。

九州の自立を考える会臨時総会

10月6日、「九州の自立を考える会」(会長:藏内勇夫自民党県議団会長)の臨時総会が福岡市内のホテルで開催されました。



藏内会長は、「我が国に元気を取り戻し、地方を活性化するためには、地方自らがその政策を立案し、実行に移すことが一番大事。そこで、今年3月に政策提言ワーキングチームを立ち上げ、『九州の成長戦略に係る政策提言』を策定した。この提言をもって、これからの日本の発展、九州の発展はどうあるべきかを世に問いていきたい」と挨拶されました。

その後、同チームの座長を務めた松本國寛議員が提言の概要を報告、「この提言内容を実現するには、推進体制も整備する必要がある」と強調されました。

臨時総会に引き続き、第7回広域行政セミナーが開催され、加地邦雄議長が来賓として出席しました。セミナーでは、中央大学大学院の佐々木信夫教授により「新たな日本のかたち—改革なくして成長なし、元気な九州—」をテーマとした講演が行われました。

九州の自立を考える会政策提言ワーキングチーム

九州の自立を考える会は、地方の産業政策・成長戦略や住民生活に関わる政策は地方自らが策定し、実行する真の地方分権型社会の実現を目指して広域行政セミナーなどを中心として活発な研究活動を続けています。しかし、今、我が国は東京一極集中や人口減少など深刻な問題に直面しており、これを克服するための政策の立案と実行が急がれるとして、本年3月25日、谷口博文九州大学教授をアドバイザーに迎え、政策提言ワーキングチーム(座長:松本國寛議員。メンバーは6頁参照)を立ち上げました。チームは、半年間にわたって12回の会議を重ね、九州の自立を考える会のこれまでの研究成果も踏まえて「九州の成長戦略に係る政策提言」としてとりまとめ、10月6日に藏内会長に報告しました(上記のとおり臨時総会で承認)。



また、10月27日に藏内会長とチームメンバー全員で石破茂地方創生担当大臣を訪問。三原朝彦衆議院議員立会いの下、藏内会長から同提言書を大臣に手渡し、政府が今後策定される「地方創生」の長期ビジョンや総合戦略への反映と本提言の実現に向けた九州の取り組みへの支援を要請するとともに、提言内容について予定時間を大幅に超過する熱心な意見交換を行いました。

九州・沖縄未来創造会議



九州各県議会議長会が設置している「九州・沖縄未来創造会議」が、9月1日、佐賀市内のホテルで開催されました。

この会議は、国主導ではない地方の視点に立った国・地方の将来のあり方について、九州沖縄各県議会議員が情報および意見を交換することを目的としており、今回、本県議会から、同会議顧問の藏内勇夫議員、同じく委員の原口剣生議員、吉村敏男議員および浜崎達也議員が出席しました。

第9回となる今回は、人口減少問題をテーマに、国土交通省国土政策局総合計画課長の白石秀俊氏による講演「国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～」と、株式会社ジェイティービー旅行事業本部観光戦略部長兼株式会社JTB総合研究所客員研究員の加藤誠氏による講演「観光を基軸とした地域の活性化とは」があり、講演後には、活発な質疑応答が行われました。